

「雨を走るこどもたち」

児童養護施設若松園
園長 津嶋 悟

「子どもたちが一体何をしたいのだ、この子はまだ自分の人生を歩み始めたばかりだということに！」
降り注ぐミサイルにより瓦礫と化した建物の下敷きになった赤ちゃんを煤だらけになってかき分け探し
ながら、空に向かって叫ぶ消防士の映像が喉に焼きつく。その慟哭が耳にこびりつき離れない。

突如隣国からの侵攻を受けたかの国では、支配された地域にある児童養護施設などから少なくとも数百人
の子どもたちが連れ去られていると聞いた。国連が設置した調査委員会によればその多くは連絡を遮断され、汚い服、貧しい食事、不十分な医療、他国の価値観を賛美強要させられ、強制的な養子縁組がなされて
いる実態もあるという。その子たちはどのような思いでこれから大人になっていくのだろうか。子どもが
暮らしていた施設のスタッフたちはどうなったのだろうか。想像するだけで胸が苦しい。

子どもの心は柔軟性に富む。好奇心にあふれ環境に適応する力も高い。今日も雨天の中、傘があるにもか
かわらずあえて雨粒に身をゆだねながら楽しそうに歩く子どもたちの姿がある。それは純然で無防備にも
見え、あえて苦難に立ち向かう勇ましい姿にも見える。私たちはいつから雨に濡れ泥にまみれることに
不快感を覚え避けるようになったのだろうか。

この4月1日、わが国に「こども家庭庁」が発足する。厚生労働省、文部科学省、内閣府、警察庁などが
縦割りで所管していた子どもを取り巻く行政事務が一元化され、子ども政策の司令塔となることが期待さ
れる。大きく物事を変えようとするれば必ず混乱は生まれるものだが、何よりここで大切なのは変化と混乱
の先にある理念や目標とするものの中身だ。

当法人が岡山市内で初となる児童家庭支援センターを開設し今年度で5周年を迎える。児童養護施設に
併設し運営する民間相談機関としての存在意義は年々大きくなってきており、手狭な設備環境での船出で
あったことから、ここで本園敷地内における全面移転を実施し、余裕を持った設備環境で今後の機能展開
に備えることとした。さらにはアフターケア専用ホーム1棟を新規整備し、入所児童への自立訓練や専用
ホームを活用しながらの職場への通勤や大学等への通学を可能とし、子どもたちをゆるやかに社会に送り
出していく体制を整える。

「新しい社会的養育ビジョン」からはや6年。新型ウイルス世界的蔓延の影響もありながら、心なしか
我々の養育現場から大人と子どもの笑顔が減りつつあるように感じるのは考えすぎか。避けもせず雨の中
を無邪気に走り回る姿に風邪をひかないか心配しながら、この子たちをまもり育む社会と文化の醸成にま
ずまず力を尽くさなければならぬと改めてその意を強くした。



第45号
発行

社会福祉法人
備作恵済会 若松園

〒703-8261
岡山市中区海吉206番地
TEL (086) 277-2261 (代)
FAX (086) 276-6925
http://www.wakamatsuen.or.jp/

第3回11月11日介護の日川柳

たすけあい
みんなをえがおに
つないだて

2年連続の優秀賞！！

誰かが困っていると、黙って手を差し
伸べられる優しいHちゃん。彼女ら
しい一句になりました。

きらめきプラザで行なわれた表彰式
にも参加させていただききました。人
見知り、人前に立つことが苦手だっ
たHちゃんですが、いざ名前が呼ばれ
ると1人で前に出て堂々と賞状を受け
取り、その姿には成長を感じ、感動し
ました。

みんながえがおになってくれば
うれしいなとおもってえがおがえしました。



第42回全国児童養護施設児童文化奨励絵画展



「母親の目線」

中学3年生Kちゃんの絵が岡山県代表に選ばれました。
普段から絵を描くことが好きなKちゃん。遊び疲れてリビング
で寝てしまった2歳の男の子を母親の視点で描きました。髪
の毛をよりリアルにする為、3色の色を使ったそうです!!

小さい頃から絵を描くのが好きで、自分としても自信を持って
ものごしらえ。そこで今回の賞をもらい、認められたと思ってすく
喜びが溢れ、自分に自信が湧きました。

ご寄附・ご寄贈・ご奉仕・ご招待

敬称略・順不同
(令和4年4月から令和5年3月まで)

- 株式会社 onepen
- 国際ソロプチミスト西大寺
- にしき自動車興業株式会社
- 社会福祉法人山陽新聞社会事業団
- 西博
- 森里子
- 長泉寺
- 有馬成美
- 郷木義子
- 福田郁也
- 江田加代子
- 松本和義・陽子
- 伍賀小夜子
- 横山こころ
- 佐藤真央
- 荒島敏博
- 成川彰浩
- 中田一成
- 長田洋和
- 内藤彰信
- 西村雄祐
- 横林政人
- 澁谷壽朗
- 河本準一
- テスタ
- 森里子
- 三谷一弘・弥生
- 小林大介
- 光居孝義
- 田村敦肖
- 松本好厚
- 村上公江
- 三橋光稀
- 高木優行
- 西尾晴美
- 田中律雄
- 森永博明
- 井上雅章
- 原田恭
- 片山東眼科医院 理事長 片山望
- NOHEROES 山田晋司
- 株式会社Camellia 谷山福孝
- 株式会社源吉兆庵ホールディングス 代表取締役 岡田憲明
- おかやまコープ虹の会 会長 秋山秀行
- NPO法人オカヤマビューティーサミット「未来へつながる居場所結」
- 株式会社藤和
- 株式会社大町
- 日本鏡餅組合
- 津山活性化農園
- 株式会社建美装社
- 加藤産業株式会社
- 凸版印刷株式会社
- 株式会社兵左衛門
- 株式会社技研基礎
- セイエル労働組合
- 株式会社岡山丸果
- 木徳神糧株式会社
- 株式会社魚宗フーズ
- 株式会社シーサット
- 国分西日本株式会社
- 一般社団法人ぐるーん
- オハヨー乳業株式会社
- アサヒビール株式会社
- 岡山県運動具商協同組合
- OPGグレートムタイガー
- 全国シヤンメリー共同組合
- 国際ソロプチミスト西大寺
- 中国アイスクリーム協会
- ホームレスきずなFB岡山
- 第一生命労働組合広島総合支部
- 株式会社フアーストリテイリング
- おかやまMOMOライオンズクラブ
- 株式会社中国フジパン 株式会社飛竜
- 株式会社Daska&Desire
- 57 JPN合同会社としてのぶさん家の粉
- 一般財団法人日本児童養護施設財団
- 長泉寺
- 妙竜寺
- 桃太郎
- 桃友会
- 岡山友の会
- 株式会社明治
- 株式会社老番屋
- 全農岡山県本部
- 株式会社イサミ
- 三和商事株式会社
- 毎味水産株式会社
- 株式会社全凌設備
- ドミノピザ新福店
- 三菱食品株式会社
- デザインルーム小倉
- 株式会社井ゲタ竹内
- 株式会社川野太商店
- 有限会社山本水産輸送
- シモハナ物流株式会社
- 株式会社フレイベル館
- 最上稲荷総本山奉賛会
- 有限会社森上煙火工業所
- ポツントミーおかやま
- 明治安田生命保険相互会社
- 共栄火災海上保険株式会社
- カープス平島サ・ビッグ
- カープス真備ニシナ店
- カープス岡南店
- カープス西大寺Aコープ
- カープス邑久ゆめタウン
- カープス平井店

ご奉仕

- 吉澤佳子
- 庄田恵子
- 福永圭佑
- 柿本智美
- 岡本智美
- 高田和昭
- 野上景子
- 坂井郁子
- 守屋寛
- 松岡優子
- 越智多圭子
- 山本満理子
- トライフープ岡山
- 株式会社アプローズ
- 一般社団法人ぐるーん
- カドキヘアシェイパー
- 俺たちプロレス軍団(OPG)
- 学習ボランティアサークルwith
- 岡山県自衛隊
- 瀬戸内市観光協会
- トライフープ岡山
- B&G海洋センター
- 海の体験センター
- 木下大サーカス株式会社
- 俺たちプロレス軍団(OPG)
- 一般社団法人かすがい
- 株式会社ベネッセホールディングス
- 株式会社ジョンブル
- 特定非営利活動法人こくさいこどもフォーラム



編集後記

子どもたちは日々成長しています。自分の好きなこと、得意なこと
を見つけ前を向いて一生懸命努力する姿はとてまかつよく、私たち
はたくさん感動をもらいました。これからも、子どもたちが何事にも
挑戦していけるよう、応援していきたいと思ひます。

(編集員一同)

「きらきら」に対する御意見、御感想がありましたら、ぜひ下記の
メールアドレスまでお寄せ下さい。
また若松園に対する質問もこちらのアドレスまでお願いします。
sbw206@ceres.ocn.ne.jp

全国児童養護施設協議会より勤続20年の永年勤続感謝状をいただきました

保育士 石原里美

はじめて若松園に来たのは1999年6月。私は、保育士経験ありの子育て真っ最中のいわゆるフツウのアラフォー主婦。毎朝保育室で子どもたちを迎える準備をしていると階段の上あたりから何やら元気な声が聞こえてきます。「あ〜、来た来た。今日も元気来た!」と思い「さあ、頑張ろう」と思ったものです。が、正直に白状しますと、子どもたちのそのパワーがしんどい…と憂鬱な日もありました。いい年の大人がわずか2歳〜5歳くらいの小さな子どもたちに押しつぶされそうになって、いや、押しつぶされてどうにもいかない時もありました。人知れず泣いたり、通勤途中の車の中で一人大声でわめくことも。でも結局、そんな私をいつも救ってくれていたのはその子どもたちでした!

日々子どもたちと過ごす中、何気ない日常も素敵な思い出です。例えば、私が若松園に初めてきた頃に子どもたちが使っていたコップやフォーク。その中に少しだけ他とは絵柄の異なるフォークがあってそれを使いたいと取り合いをしていた子どもたち。小さな手で握りしめるように持っていた大きめのコップ、よく一緒に遊んだおもちやなど今でも大事に一人一人の思い出と共にあります。大きくなった子どもたち、卒園した子たちが来てくれた時に機会があれば見せています。幼かった彼らは、あまり覚えていませんが、私はしっかりと覚えてますよ。涙と鼻水とよだれにまみれたあなたたちのお顔…。高校生になった子がある時、突然保育室に来てくれて、小さな椅子に座って「オレ、こんなちっちゃい椅子座ったんか。」としみじみ言ったこともあり。また、卒園した子が尋ねてきてくれた時、「石原先生、〇〇ちゃん、来てますよ〜」と声を掛けてくださる先生方の温かいお気持ちと共に、あの小さかった子が、なんて大きく立派になったことか、といつも涙が出ます。「大きくなったなあ〜」と見上げるくらい。

「このために私ここにいるんやな、ここにいる理由の一つや」と心から思ったものです。長年いたからこその役目と共に、私自身のとても大きな喜びでもあり大切な糧となりました。何気ない日常がどれほど大切で素敵な事か。そして喜怒哀楽、すべてに感謝です。

30代後半だった私も今では60代に足を踏み入れ、あの頃の未来に立っています。相変わらずの日常で未だ様々なことで選択の連続ですが、しっかりと考え選んだことならそれでいい、その悩んだことが実は心を支え癒してくれる、そして無駄な経験はないと信じています。これからも若松園で過ごしたすべての日々を誇りに思い、そして胸を張って生きていきます。



巣立ちの時 ~No Smile, No Life~

今年は3名の若者が園を卒園します。新しい生活へ希望を抱き、巣立っていく3名にインタビューをしました。話を聞きながら、「あんなこともあったな」「そういう風に考えていたのかあ」とインタビューをした私も懐かしさと巣立っていく3名の成長を感じました。笑顔あふれる素敵な人生を…!



①キャンプに行ったこと。川で遊んだり、BBQをしてとても楽しかったです。
②アルバイトと剪定。
アルバイトは2年間通い続けました。剪定では高い所が苦手だけど、上に登って頑張って切りました。
③若松園のみんなのおかげで色々大切なことを知ることが出来ました。ちゃんと一人暮らしが出来るようになることが、そのことへの恩返しだと思っています。

①バレーボールクラブでいろんな県の人と対戦したことが良い経験になりました。
②受験勉強。
朝早く起きて勉強して、塾に行っただけで勉強して、帰ってから勉強して…。本当に頑張りました!
③仕事と生活を両立して、立派な大人になります!たくさんの先生方、今まで本当にありがとうございました。

①小学生の時に一緒に生活していた小さい子とリビング全部を使って盛大なおまごごをした(笑)
②児童会の会長。
不安だったけど、やってみて自分が人任せだったことや人をまとめる大変さなどが分かった。良い経験になりました。
③みんなにはどんなことも全力で頑張ってもらいたい。やってみないと知れないことはいっぱいある!先生方、本当にお世話になりました。これからも全力で頑張ります!

①若松園での思い出 ②今まで一番頑張ったこと ③メッセージ

祝・スポ少卒団

みんなのチームワークを高めるために積極的に声を出しました。



サッカーをしている年上の子どもから影響を受けて2年生からサッカーを始めました。普段は小学校のグラウンドで練習していますが、練習試合で遠方に行ったり、芝のグラウンドで試合をしたりしました。2月に行なわれた最後の公式戦では9年ぶりとなる県大会出場を果たし、ベスト8という素晴らしい結果を残すことができました。6年生ではキャプテンを任されて不安もありましたが、ガッツ溢れるプレーでチームを引っ張り、この4年間で心も体も大きく成長しました。

剣道を通じて礼儀作法や仲間の大切さを学びました。



3年生の時に「剣道がしたい」と力強く言ってきたことを今でも覚えています。剣道を始めてから1度も休むことなく稽古に参加し、6年生になると“剣道1級を取れるように頑張る”と日々稽古に励んできました。昨年11月に目標にしていた1級を無事に取ることができました。応援してくれている人たちにたくさん褒めてもらい、自信になりました。中学生になっても、向上心を忘れずに頑張っていきたいと思っています。

子どもたちの軌跡



ピアノの発表会で子犬のワルツを弾きました。緊張したね!



スプーンやフォークだって上手に使いちゃうぞ☆



ギターノートを作成して猛練習中!Tちゃん、頑張れ!



初めてのことに挑戦する事が苦手だったH君。「やってみる!」と言うことが多くなりました!



虫博士になるゾ!虫の図鑑を読み漁り、触る練習を頑張っているよ。



園長先生の似顔絵

ていねいに字を書くことを頑張っているKちゃん。書き初めで入選!



お菓子作りに目覚めたCちゃん。日々新しいレシピに挑戦中♪



560の夢プロジェクト子ども絵画展

M君が優秀賞、Tちゃんが特別賞

K君、F君、Yちゃん、Aちゃん、Hちゃん、Rちゃんが入選!素晴らしい☆





令和5年2月26日に富山公民館にて『こどもとおとなの一次救命処置』を実施し、地域の方が7名参加して下さいました。「心肺蘇生とAEDが怖いんです」と言われたことに対して、講師が「どれだけ人形で練習しているかですよ」と今回の講習に参加して下さいました意義を話されました。

今回は主に、胸骨圧迫を体験してもらいました。皆さん「しんどい」「1分は長い」と言われてました。

参加された方々から「思った以上に大変だった」「絶え間ない胸骨圧迫の重要性を感じた」「二次災害を防ぐ大切さを知った」「実際にやってみると分からないことが多く参加してよかった」「また参加したい」という感想をいただきました。来年度も継続して実施したいと思っています。



心肺蘇生の体験。大人の人形だけでなく、子どもの人形でも実施しました。大人の方法との違いもあり、難しさを知ることが出来たと思います。

お母さんたちが講座を受けている間、託児スタッフと一緒に、子どもたち5人で楽しく遊んで待っていました。



Instagramはじめました！

令和5年4月1日より若松園のInstagramを開設しました。これまで子どもたちの日々の様子や行事の様子はホームページのブログや広報誌「きらきら」を通して発信してきましたが、今年度は更にInstagramを通して子どもたちの様子を写真を中心に知って頂こうと考えています。

今後も引き続き、ブログの更新や広報誌の発行を行ってまいりますので、併せて見てください。

下記にInstagramとブログのQRコードを載せているので、是非ご覧になってください！

いいね！、フォローで応援していただければ幸いです。

Instagram QR code and profile preview for wakamatsuen206

Blog QR code and description: 若松園ブログ 子どもたちの日々の生活の様子を詩々お伝えします。

新任職員紹介

新たに8名の新任職員が入職しました。「どんな先生だろう？」「何か得意なこととかあるのかな？」と子どもたちも興味津々。さて、どんな先生なのかな？

①趣味、特技、アピールポイント ②メッセージ

児童指導員 渡邊智恵

- ①ご飯やお菓子を作るのが得意。
②早く子どもたちの名前を覚えて仲良くなれるように頑張ります！話しかけてね！

児童指導員 山本歩弓

- ①歌を歌うこと・絵を描くこと・料理をすること
②にぎやかで楽しいホームになるよう、子どもたちと過ごしたいです。よろしくお願いします！

児童指導員 岡田悠

- ①壁面制作、音楽(歌やピアノ)
②子どもたちと一緒に音楽や得意なお菓子作りを一緒にやりたいです。よろしくお願いします。

児童指導員 大村果歩

- ①読書やお菓子作り、体を動かすことインドアからアウトドアまでたくさんの趣味があります。
②子どもたちの「やってみたい」や「知りたい」を大切に、一緒に挑戦したいです。

児童指導員 山本貴大

- ①バレーボール、体を動かすこと
②子どもたちと外遊びなど楽しい時間を過ごしたいです。話を聞くことも好きなので気軽に声をかけてくれると嬉しいです！

保育士 土田いとみ

- ①体を動かすこと ヨガやテニスをして体力づくりをしています。
②食べるのが大好きなので一緒に お菓子作りをして食べようね！

児童指導員 田坂光希

- ①体を動かすこと、ゲーム
②子どもたちの素敵で可愛い笑顔が溢れるようにしていきたいです！

事務員 河本大輔

- ①スポーツ やるのも観るのも好きです。
②みなさんの毎日をサポートできるように頑張っていきます。よろしくお願いします。

お知らせ

社会福祉法第82条の規定により、当法人では利用者からの苦情に適切に対応する体制を整えています。

当法人における苦情解決責任者、苦情受付担当者及び第三者委員を下記のように設置し、苦情解決に努めていますので、お気軽にご相談ください。

*若松園 苦情解決責任者

津嶋 悟

*若松園 苦情受付担当者

廣瀬 由貴 086-277-2261

<第三者委員>

*福山市立大学 名誉教授

八重樫 牧子 086-256-5523

*主任児童委員

來住 久益子 086-274-7983

苦情解決委員会

令和5年3月10日、本園集会室にて苦情解決委員会を開催致しました。

第三者委員2名にお越し頂き、令和4年度における本園の入所児童と保護者からの苦情対応についてご審議頂きましたが、特別な指示・指導事項はありませんでした。

情報公開について

定款、現況報告・総括表、決算書、事業報告を若松園ホームページに掲載しています。ぜひ、ご覧ください。また、ホームページにてブログを更新しています。子どもたちの日頃の様子、園の取り組み等を紹介しておりますので、こちらもぜひご覧ください。

http://www.wakamatsuen.or.jp/